

KiKiの広場

2017年 2月 1日

cafe NO.76
KiKi



寒暖の差が激しい季節ですが、この時期だからこそでしょうか、つくづく太陽ってすごいなあと思います。雲の切れ間から太陽の光が差し込むだけで、びっくりするほど温かさを感じます。約1億5千万kmと、どれくらい遠いのかよくわからないところにある太陽、そこから出た光が8分20秒足らずで地球に届くとは、なんだか不思議な気がします。まっ、難しいことはさておき、太陽のありがたさを感じることができるのは、寒い冬があるからですね。もうしばらく寒さを味わいながら、間違いなく訪れる春を待ちたいと思います。

2月の予定	
休館日	14日(火)
定休日	毎土・日曜日



「今月のケーキ」…「チョコナッツケーキ」 350円

香り高いカカオを使ったチョコケーキです。チョコクリームを立体的に絞り出し、ボリューム感を演出。ナッツやチョコソースのアクセントで、最後の一口まで飽きずにお召し上がりいただけます。



今月のお気に入り…「バレンタインにちなんだ絵本」

～「チョコレートを食べたさかな」「チョコレートのまち」「チョコレートだいすき」「チョコだるま」「ごねこのチョコレート」など～



チョコレートを食べたさかな

「チョコレートを食べたさかな」は、チョコレートに恋した？一途なさかなのお話かなと思っていたら、実は命がめぐるめぐるという奥の深い考えさせられるお話でした。セピア色のイラストがちょっぴり切ない、どちらかというと大人向けの絵本です。「チョコレートのまち」は、チョコレートが人間のように住む町のお話です。チョコレートなので、温めれば自由自在に顔を変えることができます。子どもたちには動物顔が

流行りますが、凶暴な動物の顔になると性格まで凶暴になってしまいます。そんないじめっこを懲らしめる為に、ティラノザウルスの顔になった男の子が、自分も威張る性格になってしまっ…。

心の葛藤が描かれた、こちらも深い深いお話です。



今月の本棚…「節分&鬼にちなんだ絵本」

～「だいず えだまめ まめもやし」「鬼」「おにはうち！」「すみ鬼にけた」「ふくはうち おにもうち」「鬼のうで」など～



節分に欠かせない大豆ですが、ビールのお供の枝豆が成長して大豆になるって、恥ずかしながら大人になるまでというか、つい最近まで知りませんでした。(^^) てっきり別の豆だと。まさか出世魚のように成長に伴って呼び名が変わっていたとは…。「だいず えだまめ まめもやし」は、同じ野菜でも食べる時期

によって、姿・形が違うことがわかりやすく描かれています。今江祥智さんの「鬼」は、人里に降りて悪さをする鬼を、見事な知恵でやっつけるお話です。ただこの鬼、なんかひょうきんで憎めないんです。案外いいやつだったのかも、と思わせる瀬川康男さんが描く鬼は、愛嬌たっぷりです。



ほっとフライク

ヒストリアをいつも利用されている団体の展示会が今年の秋にあり、その時飾られた大きな胡蝶蘭を、指導者の方から受付にいただきました。年末年始を過ぎても、とても生き生きときれいに咲いていたのですが、ここ数日の寒さのせいか、あっという間に花が枯れてしまいました。エントランスに置いていたので、急激な冷え込みに耐えられなかったのでしょうか。枝だけで3本のアーチを作っているという、何ともみすぼらしい恰好になってしまいました。ところでこの胡蝶蘭、ずっと気になっていたことが…。実は枝の途中から何本か別の枝が伸びはじめて、気が付くと蕾がいくつもついているのです。最初からきれいに咲いている蘭しかみたことがなかったので、「え？これって咲くの？君たちどうしたいの？」と水をやるたびに思っていました。



新しい花がやってきてお役御免になったので、KiKiにもらい受けて、その蕾の行方を見届けることにしました。果たしてうまく咲かすことができるのか、乞うご期待！！(なんて、枯らしてしまいそうで、ちょっとドキドキ)